

	○開催日時	令和元年6月19日(水)	13時～
	○開催場所	高木小学校	校長室
	○出席者		
	(委員)	北本修吾	芥川公明
		田尻孝子	緒方章二
		野田隆寛	福田賢治
		中島理恵	※高田委員欠席
	(教育委員会)	本田教育長	西田主事
	(学校)	福田校長	金崎教頭
			佐藤(記録)
1	委嘱状交付		
		本田教育長より 代表 北本委員へ	
2	教育長挨拶(『学校運営協議会制度』説明含)		
本田教育長		学校運営協議会が今年度、新しい形でスタートする。行ける限り参加したい。	
		最近は、様々な事件、事故のニュースが多い。とりわけ、川崎児童殺傷事件や地震のニュースなど怖いニュースも多いと思う。	
		明るいニュースとして、まもなく始まる中体連での御船中生の活躍が期待される。	
		少年の主張やものづくりなど全国規模の様々な大会で頑張っている。	
		教育委員会から配られた資料について説明したい。	
		これまでの「コミュニティ・スクール」と今回の「学校運営協議会制度」というのは、ほとんど同じと受け止めてよい。御船町は10年前から取り組んでいる。	
		特に、七滝中央小において、県版のコミュニティ・スクールに取り組んできた。	
		国と県との違いは、国は「年3回有償の会議を開く」となっている。今回の学校運営協議会は、国の制度に則って行われている。学校ごとに10人の委員に委嘱して協議会を設置した。これまでの学校評議員については、「発展的解消を図る」ということで、御船町では学校運営協議会に吸収される形となった。	
		資料の中に「地域学校協働活動」というものがある。代表者は「地域学校協働運営委員会」の委員を兼ねており、各学校、地域の取組を報告したり、他校の取組を持ち帰って自校の会議で提案したりする。	

	<p>委員の一番大切な役割は、学校の教育目標、校長の姿勢、方針等についてしっかりと受け止めること。御船町の資料には、「学校運営協議会」「地域学校協働本部」両方の下に、「学校応援団」がある。委員の方には、学校が依頼していたことを、どんな行事があり、どんな団体があるのか整理し、学校ボランティアのどの組織に依頼すればよいかなどを話し合ってもらいたい。よく「組織的・計画的」という説明をしているのだが、計画を練り、よりスムーズに行くようにしてほしい。これまでは問題や課題が出たときに、改善する場がなかった。今後は、この協議会で計画を練り直していく。年3回の有償の会議以外にも、会長から招集がかかったら、無償の会議になるが、ぜひ協力をお願いしたい。</p> <p>今日は、この後、学校の経営方針等について、校長から話があると思うが、これまで学校と地域、あるいは地域だけで行ってきた行事など、協力して協働していければと考えている。事件も起こっているので、防ぐ方法等も含めて対策を話し合ってもらいたい。</p>
--	---

3	自己紹介
4	説明
金崎教頭	引き続き、説明を行います。進行は教頭が行います。
	(1) 学校の概要について
P1	御船町「コミュニティ・スクール」今後の見通し
	…これまでのコミュニティ・スクールの流れ 学校地域づくり協議会の活用
P2	御船町「地域とともにある学校」の構想
	…本会議の位置づけ など
P3	「学校運営協議会」名簿 …団体の代表（委員）、学校応援団
P4	「御船町立学校の学校運営協議会に関する規則」
	…目的、意見の申出、守秘義務、会長及び副会長の選出 などについて確認
金崎教頭	ここで、規則に則り、会長及び副会長の選出を行います。
	選出方法につきましては、「委員の互選」となっておりますが、どなたか推薦等 ございませんか。（挙手・発言等はなし）
	どなたもいらっしゃらないようであれば、事務局にお任せしていただけますか。
	事務局としては、北本様にお願いしたいと思っておりますが、よろしいですか。
	（拍手。賛成多数） ありがとうございます。
	続けて、副会長の選出ですが、事務局としては、芥川様にお願いしたいと思いま す。（拍手。賛成多数）
	ありがとうございました。
	引き続き、教頭が説明を行います。 校区の現状等お伝えします。
P9	学校概要
	…校区の人口は増えている。高齢化率が高い。
P10	地区別児童数
	…児童数も減少せずに110名前後で推移。7月、9月に転入生がある予定。

	P12 今年度の職員構成
	…50代から20代までいるが、年齢構成には偏りがある。中堅が少ない。
	P13 校務分掌一覧
	…職員の得意分野を生かしながら、職務に当たっている。
	P14 教育課程特例校
	…本年度、高木小は「教育課程特例校」の指定を受けている。
	本日の授業参観でも公開している「英語」に力を入れている。
	P15 学校行事一覧
	…まだ決定でないものもあるが、第2回の運営協議会は、11月17日(日)を予定している。
	ここで、学校運営の基本方針について、福田校長より説明を行います。
	(2) 学校運営の基本方針について P16・17
福田校長	本校の教育目標は、前年度を踏襲し、
	「夢に向かい 心豊かで たくましく 自ら学ぶ 高木っ子の育成」
	キーワードは「夢」。「夢に向かい頑張る子供」の育成を目指す。
	「こんな学校に」の中で、「1 地域とともにある、勢いのある学校」を一番に
	持ってきた。それだけ「地域とともに」を重要視している。また、「勢いのある」
	にこだわっている。高木小が「勢いがあるな」と感じてもらえたら嬉しい。
	具体的には、「コミュニティ・スクールの推進」「積極的な情報発信」の2点に取り
	組む。特に「情報発信」に力を入れている。どんな行事があるか、子どもたちは
	どんなことを頑張っているのか、校長はどう考えているのかなど、知ってもらうた
	めに、現在、資料にもあるが、「学校便り」を発行している。ほぼ字だけ。校長の
	考えを知ってもらいたい。また、学校HPについても、ほぼ毎日更新している。
	6/17の記事(地域のご支援)を資料に載せている。

金崎教頭	せつかくですので、ここまでで質問はありませんか。
	(3) 意見交換
北本委員	保護者がHPの話題をされていた。自分も見てみた。
	ところで、学校外で子供をどう支えるか、守っていくかが、私たちの役割だが、一緒に登校される見守りの方の中には、杖や傘を持って歩いている人もいる。
	警棒や安全棒のようなものがあったらどうか。何かいいアイデアはないか。
金崎教頭	学校内にはさすまでも準備しているが。今後、検討して考えたい。
田尻委員	交通指導に立っていると、いつもパトカーに会うが、毎日されているのか。
	小学生だけでなく、中学生、高校生も通るので、抑止力になると思う。
福田校長	毎日同じルートというわけではないと思うが。この協議会を通して、児童の登下校の安全については話し合いたい。子供だけ、保護者だけでは難しい問題。地域の方の力を借りたい。
本田教育長	他校区では、よく「ながら防犯」として、散歩を登下校時間帯に合わせて行ったり、黄色いビブスなどを着て歩いたりされている。凶悪犯罪にはどうかと思うが、声かけ事案などには効果がある。
緒方委員	高山地区では、児童・保護者と樹木伐採、花壇整備などしているが、地区ごとに行っているものはこれまでどおりでよいのか。
福田校長	地区の行事などはこれまでどおりで構わない。今後は、これまでそれぞれでやっていたことを、情報を集めて整理していく必要がある。この会がそのような場になれば、と思う。

